

7月7日
H. 1.270

工一人養胸期一は暴に於て造船船工且倉
七よりと但成し其の極限外とし日不所
計外(月刊)を其利しるや在るか、今回清
凡船工恩存と改稱し一倉、括弧するに味
一たりと云ふ、
其の概意として、はや、号等情調其
少物より其表の造り、造り同量則との同
着目は勿論思ふべきなり。
目下存員は約半と稱す、不明な
り、主眼名、毒眼也、十年、二十、五、十
り、一見、頭骨、り、十、十、信用、する、と
得る、詳細は、後、に、報、了、す、と、

堤田正夫

神ノ方商界

◎堤田正夫の收監者
暴に堤田正夫、工場主、堤田正夫、加、解、雇
手、出、せ、る、こと、り、端、七、之、物、務、公、認、し
遂に、此、氣、に、連、日、沖、天、孫、存、存、の、幹、新、及、心、の、り
取、正、の、一、系、り、堤、田、正、夫、の、送、に、送、撃、し、て、以、療
十、日、の、り、存、傷、を、よ、つ、た、事、件、は、高、針、孫、存、存
に、は、け、り、事、事、以下、七、名、の、幹、工、を、十、名、を、引
流、者、に、極、監、せ、る、の、大、港、新、工、事、現、在、の、り
其、の、極、監、を、放、置、せ、る、目、下、沖、天、孫、存、存、の、り
監、正、正、夫、の、り、孫、存、存、の、り、主、業、神、今、者、の、り、

財團
協
會